

先端技術キーワード解説

知っておきたい最新の動き

【Web3 (Web3.0)】

最近（2022年5月）、Web3（Web3.0）という用語を、政治の世界でよく聞くようになりました。各国政府がWeb3への取り組みを相次いで表明しています。日本ではNFT政策検討PTのメンバーが2022年4月、岸田文雄首相にWeb3について説明し、日本の成長戦略の柱に据えることを提言したとのこと。

Web3は非常に注目度の高い技術のようです。どのようなものでしょうか。

1. Web3とは

Web3.0は2014年に暗号通貨イーサリアムの共同創始者ギャビン・ウッド氏によって提唱されました。大きな特徴は、Web2を含む従来型が「クライアントサーバ型」であるのに対し、Web3は「P2P（ピア・ツー・ピア）」型を前提としていることです。そのネットワークにつながる人が分散してデータを保持する自律したシステムを前提にしています。クライアントサーバ型より安心・安全とされています。

2. Web 2.0 と Web3 (Web3.0) の比較（文献1）を参考）

プロトコル関連	Web 2.0	Web3 (Web3.0)
信頼モデル	<ul style="list-style-type: none"> 中央集権型のサービス、サーバ、ソフトウェア それらの背後にいる企業を信頼 	<ul style="list-style-type: none"> 非中央集権型（分散型）。ピア・ツー・ピア。権限が集約されていない 信頼が最小限 - 分散型プロトコルを信頼
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 巨大デジタル企業に権力が集中 	<ul style="list-style-type: none"> 非中央集権型自律組織（DAO）。ガバナンスはステークホルダー（ガバナンス・トークン・ホルダー）に分散
ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> 巨大デジタル企業とサービス・プロバイダーが顧客データを所有し、それを利用して収入を得る 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックチェーン・ネットワークが、トランザクション・バリデーター（取引の検証者）に作業対価を支払う
ユーザー参加型モデル	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー・データと引き換えに、無料サービスを獲得 サービスやソフトウェアの実行に対して、仲介者に支払い 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーがデータやコンテンツを所有し、収益化できる 支払いは、ブロックチェーンのトランザクション・バリデーターに直接行われる
ユーザー・インタフェース	<ul style="list-style-type: none"> Web ソーシャル・ネットワーク モバイル・アプリ 	<ul style="list-style-type: none"> 分散型アプリ（dApps） 中央集権型マーケットプレイス／サービス
ユーザー認証方法	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーID パスワード その他の認証 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックチェーン上にある所有者のレコードへのアクセスを解禁する秘密鍵。秘密鍵は、自己ホスト型ウォレットやサードパーティ・ウォレットに格納可能



ブロックチェーンによりデータの真正性が担保される
(出典：Shutterstock)

3. Web3 の今後の展開

Web3 は、これまでは実現不可能と思われていたアプリケーションを生み出すとされています。ただし、全てが置き換わるためには、規模、顧客サービス、顧客保護の点などで課題があります。今後の動向に注目したいと思います。

[参考文献]

- 1) Gartner : Web3 (Web3.0) とは何か? <https://www.gartner.co.jp/ja/articles/what-is-web3>
- 2) Gavin Wood : Why We Need Web 3.0
<https://gavofyork.medium.com/why-we-need-web-3-0-5da4f2bf95ab>

(注)

本解説は、執筆当時の状況に基づいて解説をしております。ご覧になる時には、状況が変わっている可能性がありますので、ご注意ください。

無断転載、転用は固くお断りいたします。

Copyright (C) Satoru Haga 2022, All right reserved.

技術・経営の戦略研究・トータルサポーター

ティー・エム研究所

工学博士
中小企業診断士
社会保険労務士(登録予定)
代表 **芳賀 知**

E-Mail: info_tm-lab@mbn.nifty.com

URL: <http://tm-lab@a.la9.jp/>